

# 1993年度第3学年学級開き・PTA参観授業の記録(板野中学校3年A組)

主 題 「中学最終学年のスタート、今、峠に立つて」 1993年4月18日(日)

資 料 詩「峠」(真壁 仁)

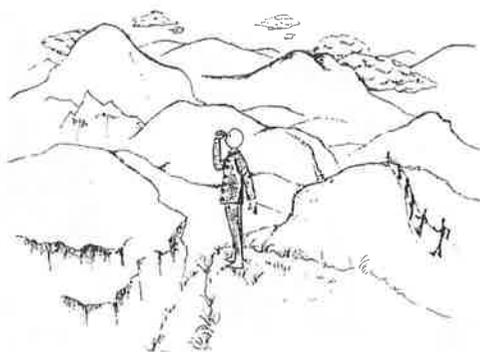
授業者 森口 健 司

T 1: 仲間と共に本当の思いを語り合う喜び、人間としての存在を確かめ合う喜び、人間としてどう生きるのか、どのように生きていくのか、生きるということを学び合うということは本当に素晴らしいことだと思います。3年生になっての初めての授業参観、私はこの授業に「峠」の詩を選びました。私のこの「峠」の詩に込めた願い、私のにとってこの「峠」の詩が何であり、私がこの「峠」の詩によってどのように生かされてきたか。私のこの詩に寄せる思いを皆さんに精一杯語りながら、今人間として何が大切であるかを求め合いたいと思います。みんなの思いが自分の言葉で語れて、私はこの授業に参加したんだ、3年A組の仲間の一人なんだと実感できる。そして自分には素晴らしい仲間がいるんだという喜びがこみあげてくるそんな1時間にしたいと思います。「峠」の詩をもう一度読んでみます。

※

## 峠

峠は決定をしいるところだ。  
峠には訣別のためのあかるい憂愁がながれている。  
峠路をのぼりつめたものは  
のしかかってくる天碧に身をさらし  
やがてそれを背にする。  
風景はそこで綴じあっているが  
ひとつをうしなうことなしに  
別個の風景にはいってゆけない。  
大きな喪失にたえてのみ  
あたらしい世界がひらける。  
峠にたつとき  
すぎ来しみちはなつかしく  
ひらけくるみちはたのしい。  
みちはこたえない。  
みちはかぎりなくさそうばかりだ。  
峠のうえの空はあこがれのようにあまい。  
たとえ行手がきまっても  
ひとはそこで  
ひとつの世界にわかれねばならぬ。  
そのおもいをうずめるため  
たびびとはゆっくり小便をしたり  
摘みくさをしたり  
たばこをくゆらしたりして  
見えるかぎりの風景を眼におさめる。



※

- T 2: 3年生になったときの気持ち、また3年生になってこの「峠」という詩に出会ったときの気持ち、その思いを重ねて、みんなの思いを語り合いたいと思います。初めての道徳の授業、参観授業ということで緊張もしているだろうけど、みんなで頑張ってみんなの胸の中にある思いを語り合いたいと思います。一人一人が本当の思いを語り合える関係というのは本当に嬉しいものです。みんなのつながりをすばらしいものにしていくためにみんなで頑張り合いたいと思います。それでは挙手してください。
- C 1(女)3年生になって受験のこととかいろんな不安がいっぱいあるけど、みんなで励まし合いながら頑張っていきたいと思います。私たちは本当に思うことを言い合わなければ、心は通じていけないという気がします。まだ始まったばかりでこれからいろんなことがあるだろうけど、みんなで頑張っていきたいです。
- T 3: 今の田尾さんの思いにつなげてください。
- C 2(男)ぼくは始業式の日、2年生の楽しかったこととか、いろんな思いがありました。それでこの教室に入ってくる時、一緒になりたかった友だちとかいるかなあと不安がいっぱいあったけど、僕はこれも長い人生を生きていく上で一つ越えなければならぬ峠だと思っています。この1年、中学3年という人生の大きな節目をこの「峠」という詩から感じ取ったものを大切に頑張っていこうと思います。
- T 4: 頑張りましょう。みんなの思いをつなげてください。
- C 3(男)3年になっていろんなことが迫ってきて、2年の方が気楽でよかったという気持ちになったけど、3年生は自分にとって今までにない重要な意味を持っていくと思うので、この詩のように3年生という峠を一步一步登り詰めて行くんだという気持ちで、気を引き締めて頑張っていきたいと思います。
- C 4(女)私も3年生になって新しい友だちとうまくやっていけるかとても不安でした。今はどうしても2年生のクラスでのいろいろな風景が頭の中にあるけど、私は今というときを大切にこれからの3年生という道のりを精一杯に頑張っていきたいと思います。そして3年生としての1年間の道のりを登り詰めたとき、私の心の中に3年生での風景がいっぱい詰まっているような、そんな3年生にしていきたいと思います。
- C 5(男)2年生のとき仲のよかった友だちと違うクラスになって、とてもこのクラスが嫌だったけど、いつまでも過去のことをうじうじ考えていたのでは、成長していくことはできないと思うし、これからの3年生という時間を自分にとって最高のものにして行くために、今の気持ちを切り替え、先生がいうように2年から3年という峠を立派に越えて、自分にとって最高のライバルとなり、仲間となっていくような友だちをこのクラスでもつくっていきたいと思います。
- C 6(女)私は3年A組になってわずか10日ぐらいしかたっていないけど、新しい友だちと仲よくなることができました。今からその新しい仲間とこの1年間を悔いの残らないものにしていききたいと思います。
- C 7(女)私は「峠」という言葉のイメージとして一番に思ったのは高校入試という峠ということです。これは今まで私が経験したことのないことなので大きな不安があります。先輩たちから3年生は大変だということを今までに何度となく聞かされ、3年生にはなりたくないなあと思ったこともありました。この峠を越えていくためにはいろいろな困難があると思うけど、一步一步、今自分にできることを頑張っていけば、峠を越えられると思います。先生が言うように「継続は力なり」だと思います。

- T 5: 仲間の思いにつなげていきましょう。2年生のクラスがよかった。このクラスと別れたくない。そんな思いの中で3年生を迎えた人もいます。2年生のクラスの仲間と同じクラスになることを願っていたのに、現実はそうではなかったという人もいます。また、今まで一緒にのクラスになれなかったけど、3年生になって初めて同じクラスになれた喜びをかみしめ合っている人もいることでしょう。この「峠」という詩の一節に、「ひとつをうしなうことなしに別個の風景にはいつてゆけない。大きな喪失にたえてのみあたらしい世界がひらける。」という部分があります。この部分と2年から3年へと進んだみんなの思いと重ねてみてください。「ひとつをうしなうことなしに別個の風景にはいつてゆけない。大きな喪失にたえてのみあたらしい世界がひらける。」という場面について、みんなが思うことを出し合いたいと思います。
- C 8(女)私は3年生になることによって、2年生のいろいろな場面や情景と別れてきたんだと思います。そう考えると2年から3年になるということは、峠を越えたということになるんだと思います。でもなんとなく峠を越えてきたようにも思えてきます。自分自身が精一杯生き、峠を越えてきたんだと思えるように、これからは頑張りたいと思います。田尾さんが言うように1年後には高校入試という峠が待っています。この峠はほんやり歩いていたのでは越えられないと思います。自分の一步一步の歩みがどうであるかを点検しながら、自分に課せられた一日一日を頑張りたいと思います。
- C 9(女)私もまだ3年生の風景になかなか入っていけないところがあります。2年生の友だちと別れてしまったのは悲しいけど、それに耐えて今の3年A組の仲間が増えていくように頑張りたいと思います。
- C10(男)俺はあまりみんなのことはわからないけど、このクラスになったのは何かの縁があったんだと思います。俺にしてみたらみんなと出会ったのは何かの縁だし、みんなにとっても俺と出会ったことは何かの縁だと思います。まだ少ししかたっていないけど、みんなと同じクラスでよかったと思うし、森口先生が担任でよかったです。そして、この1年間を最高によかったと言える1年間にしていきたいと思います。
- C11(男)僕は3年生になって2年生のときの友だちだった子と離れてしまったけど、このクラスで1年間頑張って卒業するときには、このクラスでよかったというようにしたいです。
- C12(男)2年から3年になって失ったものは大きいと思うけど、新しい世界でまた生まれるものも大きいと思います。2年生のときに学んできたものを糧として、この3年生の一日一日に生かしていきたいと思います。
- C13(女)1年と2年では苦勞することも少し変わっていきました。2年生になったときは1年より大変だと思っていたけど、過ぎてしまえばどれもこれも美しい思い出に変わってしまったというか、今は2年生に帰りたいという気持ちがあります。でも過ぎ去ったことに心を奪われて、今を精一杯に生きることを忘れてしまったら、2年生でのことが自分の中に生かされてこないと思います。生きていくということは今2年生から3年生になって思うように、昔はよかったという思いの繰り返しだだと思います。でもそれだけではよりよく生きていくことにはなっていないと思います。私は私自身の生き方をすばらしいものにしていくために、2年生までのことをバネとして、3年生を頑張っていきたいと思います。
- C14(男)僕もみんなと同じで、3年生になって今までの友だちとクラスが別々になってしまったけど、また新たに3年A組というクラスで出会えた友だちを大切に、この1年間自分を精一杯

伸ばしていきたいと思います。

C15(女)2年生から3年生になって環境も少しづつ変わってきました。私は新しい友だちと出会うことができ、この3年生を新しい気持ちでスタートすることができました。新しい友だちと励まし合って、高校入試という大きな峠を越えていくことができるように、みんなで精一杯頑張り合いたいと思います。

C16(女)今の私は心の中がすごく不安になって、2年生のときの思い出が心の中に浮かんでくるときがあります。あのときはよかったなあと2年生の頃ばかりが自分を支配するときがあります。いつまでもうじうじ過ぎさった2年生のことばかり考えているようでは、これからの大切な峠を登っていくことができないうと思ってあせってもきます。そんなとき先生が4月8日の始業式の日話してくれた「峠」の詩のことを考えます。この詩は今の私にぴったりくるように思うし、いつまでも私の心の中に生き続けると思います。「峠」の詩と出会ったこの1年、3年A組のみんなと卒業するまで頑張っていきたいと思います。

C17(男)僕も3年生になって仲のよい友だちとクラスが別々になって、3年生のクラスで頑張っていけるか心配だったけど、みんなの意見を聞いて僕も頑張っていけそうな気がしてきました。

T 6: 「峠」の詩についていろんな思いが膨らんでいきます。みんなでみんなの思いを確かなものにしていきましょう。語り合うことから大きな喜びが見つかっていきます。一人一人の思いを出し合っていきましょう。

C18(女)2年生のときは修学旅行があったし、海にも行けたし、とても平和な日々を送ることができたと思います。でも3年生になったらいろんなことがあって、もっともっと頑張っていかなければいけないと思います。この1年の頑張りはこの私の人生にとって大きな励みとなっていくと思うので頑張りたいです。

T 7: 受験というものが、どうしてもみんなの心の中にのしかかってくると思います。昨年度の卒業生が言った言葉に、「先生、受験勉強って、こんなに苦しいとは夢にも思いませんでした。」という言葉があります。この言葉は成績優秀で板野高校に推薦で合格した生徒の言葉なんですけど、とても心に残っています。でもその生徒はこうも言います。「先生、今までの人生の中でこれほど頑張った1年はなかったし、これほど成長した1年もなかったと思います。」本当に生きるということはそういうことなんだと思うんです。みんなはどう思う。

C19(女)やっぱり3年になって受験というものが異様に近づいてきたという感じがあるけど、そのことを心配するより、今を大切に頑張っていくことが今の私たちに必要なんだと思います。

C20(男)僕も高校に入るということは、今までで一番大きく険しい峠に差し掛かることだと思います。これからも自分のために頑張って越えていきたいと思います。

T 8: みんなもうすでに15歳になった人、これから15歳を迎える人、15歳という人生の節目に立って、15年間生きてきた中で最もみんなの頑張りが、問われる瞬間を迎えることになります。自分自身がそれを登らなければどうしようもない。自分が頑張らなければ、代わりに試験を受けてくれることはない。そういう状況をみんなは味わっていきますよ。頼りになるのは自分一人なんだということを実感もしていきます。助け出してくれる人は誰もいない。自分で歩かなければどうにもならない状況を認識していくと思います。でもみんな自身の頑張りを支え励ましてくれる人がいっぱい存在します。それが毎日顔を合わせていく3年A組の仲間だと思うんです。夜、家庭学習に、受験勉強に疲れてもう勉強をやめようかと思ったとき、あいつもまだ頑張っているだろうと思う。そう思ったら後30分頑張れるんです。また、テレビやゲ

ームやいろんな誘惑に負けそうになったとき、大切な友だちの頑張りを思うんです。あの子は今頑張っているだろう。あの子と頑張つてよかったなあとほんまに喜び合うために頑張ろう。その思いが2時間、3時間の集中した学習につながっていくんです。そんな関係が本当の仲間関係であつて、人間が人間として尊敬し合い、信じ合う生きる絆になっていくんです。そしてその中でみんな自身の頑張りが、みんなの大きな力となっていくんです。みんなが生きていく中で仲間という存在とてつもなく大きいんです。みんなは一人では生きられない。1年後みんながそれぞれの進路に進んでばらばらになつても、このつながりというものは、みんな自身の生き方に確かな指針を与えていきます。共に思いを語り合った共に頑張つた仲間というのは、切れないんです。その絆はみんなの心の中にずっと生き続けるんです。そんな絆を深め合う1年にしていきたい。そしてそういう生き方を確かなものにしていく「峠」の詩であつてほしいと思います。どうですか。「峠」の詩。3年生のスタートラインに立つた今。この詩を心静かに読み返していく。みんな自身の言葉で、みんな自身の本当の思いをこの詩に寄せて語っていきましょう。

C21(男)僕は小学校から柔道をやつてきたけど、一つ一つの技を覚えるのも、僕にとって一つ一つの峠を越えているような感じでした。先輩たちにいろんな技を教わつて、先輩たちの励ましで今まで柔道という峠を越えてきたと思うけど、僕は先輩たちとしてきた厳しい練習を僕のこれから頑張っていく自信にして、県大会優勝という目標に向かつて頑張つていきたいと思ひます。

C22(女)私はやっぱり受験のことが一番心に思うことなんだけど、卒業した先輩たちの合格発表の翌日、テニス部の先輩たちが練習にきてくれたんだけど、先輩たちは受験勉強は本当に大変で、部活の練習をしているときが一番いいよと言つていました。先輩たちは受験という峠を越えて全員目標とする進路に進んでいったので、私たちも今年の合格発表の日には、全員が峠を越えた喜びを讃え合うことができるように、これからの一日一日を頑張つていきたいと思ひます。

C23(女)さつき柔道の話があつたけど、私も柔道部に入って最初はものすごく不安があつたけど、先輩たちがいろいろな技とかを教えてくれることがうれしかったです。やっぱりS君が言ったように、柔道の技一つ覚えるのも一つの峠を越えることになっていると思ひます。私はこの1年、いろんな峠をしっかりと越えていきたいと思ひます。

C24(女)3年生になつて私は仲のよかった友だちと離れてしまいました。でも今はこの詩のように、頑張つていけそうな気がしてきました。私自身が大きく成長していくことができるように、これからの峠を苦しいことがあつても、悲しいことがあつても、それを乗り越えて精一杯頑張つていきたいと思ひます。

C25(女)私は2年生のときの友だちと同じクラスになれなかつたけど、この「峠」の詩を心の支えとして、今の自分をもっと好きになるように頑張つていきたいと思ひます。

C26(女)私も2年生のときにいつも一緒にいた仲のよかった仲間とばらばらになつてしまつて、実はずっと不安があつたけど、今のこのクラスだったらいけるような気がしてきました。

C27(男)今、僕には2年の思い出と3年になつての希望との二つが見えます。2年のとき仲のよかった友だちとは一緒にクラスになれなかつたけど、3年になつて新しい友だちと一緒にすることができたし、今とてもやる気があります。3年生になつて本当によかつたと思ひえるように頑張りたいです。

- C28(女)3年というのは、やっぱり高校入試というのが一番最初に思ってしまうことです。この峠を立派に越えていけるように、このクラスで精一杯頑張りたいと思います。
- T 9：みんなの思い、語るほどに熱いものになってきました。みんなが繰り返し繰り返し語っていき、思いをつないでいくことがこのクラスの雰囲気や和やかな温かいものにしていきます。語るとは、人間と人間を信頼という絆でつないでいくスタートです。3年生になって初めてのPTA授業参観である。この時間を最高に素晴らしいものにしていきましょう。
- C29(男)始業式に学校へきたときは、やっぱりショックでした。でもO君が僕たちのクラスに入って、3年生として楽しくスタートを切ることができました。3年生になって新しい夢もできたので、新しい仲間と大きな目標に向かって頑張っていきたいと思います。
- C30(女)「大きな喪失にたえてのみ新しい世界がひらける」というところで、私は2年生でのことを私のこれから頑張っていく糧として、これからの中学3年生を精一杯に頑張っていこうと思いました。
- C31(女)まだ私には2年生のときの仲間にも、まだ引かれるものがあります。いつまでもくよくよするのではなく、しっかりと中学2年という峠を越えて一回りも二回りも成長していきたいと思います。そして3年生としてこの1年を今までの人生で最高だったと言えるようにしたいと思います。
- C32(男)僕も3年生になった今は、2年生のことばかり振り返っているわけにはいかないので、この3年A組というクラスで、自分の最高の力が出し切れるように頑張っていきたいと思います。
- C33(男)僕もみんなと同じで3年生として受験に打ち勝って、この1年を将来の夢につなげていきたいです。
- C34(男)峠を登るということは、坂を登り坂を降りることの繰り返しだから、坂を登っているときはすごく苦しくてもうやめてやろうと思うこともあるだろうけど、頑張っってその坂を登り詰めるものすごく気持ちがいいと思う。この気持ちを味わうために峠を登るんだと思います。高校入試も峠と一緒にだと思ふ。だから僕らはちょうど坂を登っている最中だから、後から後悔しないように精一杯頑張りたいと思います。
- T 10：みんなは今までいろいろな峠を越えてきた。今年は今までの中で最も厳しい峠に立つ人も出てくるでしょう。でもそれを越えたら、またみんなは心豊かなより大きな人間になっていくだろうし、素晴らしい世界が開けていくと思うんです。今のN君の思いにつなげてください。
- C35(女)3年生になって私は受験というものを間近に感じるようになりました。今年初めて入試というものを経験するので、どのように勉強を進めていったらよいかわからなくて不安なことが多いけど、仲間と支え合うことを通して、この受験という峠を越えていきたいと思います。
- T 11：本当の思いを語り合える、本当のことを言い合えるそんな関係をつくっていく。その中で本当に確かな頑張りをみんなできたいと思うんです。この限られた時間をみんなで大切にしましょう。
- C36(男)僕は今峠に立っていると思うので、今までのことを土台にこれからしっかりと勉強していきたいと思います。
- C37(男)俺も今峠という言葉の通り、そこに立っていると思います。新しい学校になって、不安もありました。でも皆とやっていこうという気もあります。また、前の学校の友だちのことを思い出すこともあります。けど、この詩を読むと、「すぎ来しみちはなつかしくひらけくるみ

ちはたのしい。」とあるけど、この言葉で3年A組のみんなと楽しくやっつていこうという目標ができたように思います。この目標を達成するために、この1年頑張ろうと思います。

C38(男)峠というのは僕は、自分自身に勝って、それで乗り越えていくものだと思います。朝寝坊でなかなか起きれないとかいうのも、自分に負けている姿だと思います。峠をしっかりと登って自分自身、いろんなことに打ち勝っていける人間になりたいです。

T12: 思いをどんどんつなげていきましょう。みんなで語り合えば50分という時間がものすごく短く感じられる。これはみんなの先輩たちと取り組んだ道徳や部落問題学習の授業を終えるたびに出てきた言葉です。みんなが主役であるこの時間、自分の思いをクラスの仲間に伝えることができた授業だったと、心から自分自身の頑張りを讃えてやれるような思いに自らをしていきましょう。

C39(男)3年になって僕たちには、高校入試という大きな目標ができたと思います。僕が思うことなんだけど、僕たちは目標があるから一日一日、前進していくことができると思うんです。また目標があるからこそ、どんな高い峠でもあきらめないで登っていくことができるんだと思います。

C40(男)僕はこれからもいろいろとくじけそうになったりするかもしれないけど、そういうときに3年A組のみんなと助け合ったり、支え合ったりしていくことができたらなあと思います。

C41(女)3年生になって受験という大きな峠があるけど、3年A組の仲間と一緒に頑張って、最後にみんなでよかったと言えるようにしたいです。

T13: 今私はこんな気持ちでいます。僕は私は今こんな気持ちでいるんだという本当の思いが、心の底から言い合える教室でありたいということです。4月8日、学級開きの日、この教室は昨年まで資料室だった関係でものすごくきたなかった。4月8日からみんなが教室をふきまわってくれた。今もO君やE君たちが一生懸命掃除をしてくれている。みんなでこの教室をひたむきに磨いていきたい。そしてすべての面において輝いたクラスにみんなで行っていきたく思うんです。そしてその輝きをみんな一人一人がこれからの人生、大きな峠を越えていくエネルギーにしていけたらと思います。みんなの思いつなげてください。

C42(女)私は「峠」という詩はすばらしい詩だと思います。いろんな人と出会い、いろんなことと巡り合って、一日一日を前進していくことができればと思います。でもいろんな困難におつかっていきたくらうけど、困ったところはゆっくり歩いて、止まることがあってもまた歩き出していこうと思います。

C43(女)私は本当のことを言うと、2年生のときは知っている人が多くいたのでよかったけど、3年生は知らない人ばかりでとても不安でした。でもみんなの意見を聞いていたら私も頑張っていけそうな気がします。この詩を大切にしていきたいです。

T14: 後ろの掲示板に、みんなの「3年生になって」という作文を掲示してあります。実にみんなは思いが豊かです。みんなのそんな豊かさを分かち合って、一人一人の豊かさをより確かなものにしていきたく思います。それがみんなが学校にくることの意味だと思います。学び合うことの意味だと思います。本当に頑張りたいです。みんなの思いつなげてください。

C44(女)先輩たちの卒業式がとても心に残っています。東先輩の答辞は今でも目を閉じると心の中によみがえってきます。私たちも1年後にはあの先輩たちと同じように卒業していきます。そのときは今以上に「峠」ということの意味を実感するようになると思います。先輩たちが感動的な最後の全体学習をしたように、また感動的な卒業式をしたように、私たちもこの「峠」

の詩を心の支えとしてこの1年間頑張っ、卒業証書をもらうときは最も輝いていたと思います。

T15:あの感動、あの思い。それは一生懸命生きたもののみが、心の底から実感していくものだと思います。高校入試が終わった日、夜9時を過ぎた頃だったと思います。卒業生のH君から電話がありました。最後の全体学習してほしいという電話でした。僕やはこの全体学習でつながり、全体学習のときに自分を見つめ自分を取り戻すことができました。だから最後にどうしても全体学習をしてほしいという電話でした。あの最後の全体学習は、卒業生のH君を始めとする先輩たちの切なる願いで実現したものでした。彼らは学校全体での全体学習をやりたかったのに、それを実現することはできず3年生だけの全体学習になったわけですけど、みんなの中にはあの全体学習を見た人も何人かいると思います。あの授業で語られたこと、あの授業で吹き出してきた先輩たちの涙。あの場面は忘れません。あれこそ生きた授業なんだと思いました。そして、あの授業を受けて卒業式でのAさんの答辞が、卒業生全体の中にこみ上げる感動となって広がっていったと思います。Aさんが最後に訴えた思い。「部落問題学習に取り組んでいた私たちは輝いていたと自信を持って言うことができます。」そして「私たち卒業生はこの差別と闘おうとする炎を今、在校生の皆様様に託します。」と訴えたこと。今も鮮やかです。私たちはこの中学3年という時代を自らに課せられた大いなる峠を越えるために、ひたむきに生きたんだと胸を張って語れるように、つながり励まし支え合って一人一人が確かな歩みを続けていきたいと思っています。時間がきました。みんなの言葉でこの授業を終わりたいと思います。だれかありませんか。

C45(女)3年生は今まで経験したことのない壁にぶつかったりで、大きな坂を登っていくことになっていくと思います。3年生という峠路を今歩み始めたところだけど、いろんな思いに引き止められて、足を踏み入れることが恐くなるかもしれないけど、一生懸命に歩き続けることをこれからの目標として頑張っていきたいと思っています。その頑張りを確かなものにしてくれるのが、仲間存在だと思っています。自分というものをしっかりと自覚しながら、仲間との絆を大切に頑張っていきたいと思っています。

T16:本当につながっていきましょう。あなたと出会えてよかった。お前と出会えてよかった。そんな思いにしていく1年にしていきたい。頑張りたい。終わります。



春の遠足（神山森林公園）



人権劇「水平社バンザイ」  
～橋のない川を題材として～